

2025年6月30日

第84期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社 阪急建装

貸借対照表

(2025年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	2,405,695	(負債の部)	1,031,039
流動資産	2,314,870	流動負債	955,167
現金及び預金	9,752	工事未払金	624,277
完成工事未収入金	1,102,792	未払金	54,149
未成工事支出金	32,486	未払費用	72,848
前払費用	5,728	未払事業所税	315
短期貸付金	1,162,375	未払法人税等	57,734
仮出金	1,653	未払消費税等	23,820
その他の資産	81	未成工事受入金	60,951
		預り金	8,166
固定資産	90,824	賞与引当金	52,574
有形固定資産	14,027	その他流動負債	329
建物附属設備	6,565		
器具及び備品	7,462	固定負債	75,871
無形固定資産	5,279	退職給付引当金	61,495
ソフトウェア	5,279	役員退職慰労引当金	14,376
電話施設利用権	0		
投資その他の資産	71,516	(純資産の部)	1,374,655
投資有価証券	0	株主資本	1,374,655
差入保証金	17,963	資本金	20,000
繰延税金資産	53,552	利益剰余金	1,354,655
		利益準備金	5,000
		その他利益剰余金	1,349,655
		別途積立金	8,200
		繰越利益剰余金	1,341,455
合 計	2,405,695	合 計	2,405,695

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
その他有価証券
市場価格のない株式等 移動平均法による原価法
 - (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
通常の販売目的で保有するたな卸資産
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。
未成工事支出金 個別法
3. 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産 定額法によっております。
無形固定資産 定額法によっております。
4. 引当金の計上基準
賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当社退職金支給規程に基づき、自己都合による期末退職金要支給額を計上しております。
役員退職慰労引当金 役員及び執行役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。
5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
控除対象外消費税等の会計処理 控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。
6. 収益及び費用の計上基準
当社は、一定の期間にわたり充足される履行義務は、期間がごく短い工事を除き、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識し、一時点で充足される履行義務は、工事完了時に収益を認識することとしております。なお、履行義務の充足に係る進捗度の見積りの方法は、見積総原価に対する発生原価の割合(インプット法)で算出しております。

当期純損益金額

当期純利益	117,906千円
-------	-----------